

登録コード	ASN04500	開講年度	2026				
授業科目	Advanced Study for Environmental Science					担当教員	三木 敦朗
英文授業名	Advanced Study for Environmental Science					副担当	福山 泰治郎
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	M1
講義室	農学部 2 2 番講義室		授業形態	講義	備考	集中 不定期	
信大コンピテンシー 非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					環境共生学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を身につける。	
授業の概要	講義と演習を組み合わせて行い、ディスカッションやプレゼンテーションも含まれます。これら多彩な授業形式を通じて、環境共生学の専門知識を受け身の授業だけでなく、主体的に学び、各自の研究課題を山岳・森林域から農山村・居住域に至る自然環境と人との共生関係を科学的, 総合的な解決というという命題の中でどのように意義づけるのかについての認識を深められるようにします。 また、本科目の資料・説明には英語も含まれますので、普段から英語力のスキルアップを心がけてください。 なお、環境共生学分野（伊那キャンパス）とランドスケープ・プランニングプログラム（南信州・飯田サテライトキャンパス）の学生が受講します。						
Contents:	Main objectives of this course are: (1) mountainous environmental conservation and restoration, (2)sustainable production and wise use of forest resources, (3) development of rural environments, and the creation and sustainable utilization of green spaces. We focus on practical, field-based education. To accomplish these objectives, the course comprises lectures and workshops that include presentation and discussion. Students who take the course are requested to contemplate their interests with “critical viewpoints”. After completion they will finally succeed to update their own intelligence and to develop practical skills, both of which are of importance for the settlement of scientific concerns what they each have faced.						
授業計画	11月10日（火） 1 限 三木 Introduction 2 限 上原 Landscape planning theory 3 限 鈴木 Dust 4 限 未定 Mechanical properties of wood 5 限 細尾 Tree Life Science 11月17日（火） 1 限 吉武 Landscape Design （オンライン） 2 限 城田 Branching 3 限 上村 Climate change and forest conditions in the future 4 限 安江 Climate change and boreal forest 5 限 小林 Ecophysiology of plants 11月24日（火） 1 限 荒瀬 Semi-arid Vegetation 2 限 内川 Rural Planning 3 限 大窪 Conservation ecology 4 限 堤 Landslide disasters and countermeasures 5 限 （担当者、内容は後日提示） 講義の日程、内容は変更となる可能性があります。 変更の際は受講者にメール及びe-ALPSにて連絡します。						
成績評価の方法	成績評価の方法 最終試験(またはレポート)、授業への取り組み態度から総合的に評価します (90点以上:「秀」、89～80点:「優」、79～70点:「良」、69～60点:「可」、59点以下:「不可」)。						
成績評価の基準	オムニバス形式で話題を扱うので、欠かさずに出席してください。 各回ごとに課される課題を評価して、全体的に下記の基準によって成績を評価します。 S:授業内容の全体像を理解して、数値的に処理できる場合『卓越している』 A:Sに準じて授業内容を理解している場合『かなり上にある』 B:授業内容に対する理解は劣るが、十分に数値的に処理できる場合『やや上にある』 C:授業内容に対する理解は劣るが、基礎的内容を数値的に処理できる場合『その水準にある』						
事前事後学習の内容	事前の学習は特に必要としませんが、事後に関連事項も含めて必ず復習して関連事項について調査するなど発展を心がけてください。						
履修上の注意	標準の対象年次は1年次です。必ず出席してください。 やむをえない事情で欠席する場合には、できるかぎり事前に申し出てください。						
質問,相談への対応	講義内容に関する質問・相談はそれぞれの授業回を担当する教員が受け付けます。 科目履修に関する質問・相談は下記の科目担当教員(大学院教務委員、前年度同委員)が受け付けます。 (担当教員) 三木敦朗(mikia26@shinshu-u.ac.jp) (副担当教員) 福山泰治郎(tjrfkym@shinshu-u.ac.jp)						

学生へのメッセージ	積極的にディスカッションに参加し，理解を深めてください。
【教科書】	授業の性質により教科書を使用しません。
【参考書】	授業の性質により参考書は指定しません。